

持続的な企業価値の向上を目指して

2018年 3月

デクセリアルズ 株式会社

証券コード：4980



1 当社の概要

2 当社の特徴、強み

3 中期経営計画

4 株主還元

見通しに関する注意事項

本プレゼンテーションで言及されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

本日のご説明内容

1 当社の概要

2 当社の特徴、強み

3 中期経営計画

4 株主還元

会社概要

設立	2012年（前身のソニーケミカルは1962年設立）
本社	東京都品川区
事業内容	光学材料、電子材料等の製造・販売
資本金	158.7億円（17年9月末）
売上高	700億円（連結、18年3月期予想）
従業員数	2,124名（連結、17年3月末）
上場市場	東証1部（証券コード 4980）
単元株数	100株
時価総額	727億円（発行済株式数/17年12月末 63,451,800株）
1株あたり配当金	40.0円（年間、2018年3月期予想）

※時価総額は3/20終値（1,145円）で算出

1962年 ソニーケミカル設立

1963年 東京都大田区で羽田工場が操業開始

1987年 東京証券取引所市場第二部に上場

1989

~1990 アメリカ、オランダ、中国に現地法人設立
年代

2000年 上場廃止、ソニー(株)の100%子会社となる

2012年 社名をデクセリアルズ株式会社に変更し、事業開始

2015年 東京証券取引所市場第一部に上場

2016年 栃木事業所稼働開始

デクセリアルズ

Dexerials

デクステラス

マテリアルズ

= Dexterous + Materials

(かしこく、機敏に)

(材料)

いろいろな「材料」を
「かしこく、機敏に」組み合わせる技術開発力で、
常に新しい価値を創造していく企業

【企業ビジョン】

Value Matters

今までなかったものを。
世界の価値になるものを。

【経営理念】

Integrity

誠心誠意・真摯であれ

【目指す企業像】

高付加価値製品の提供を通じて、
人間社会と地球環境の豊かさと
質の向上に貢献する企業

事業内容、売上構成

電子材料部品事業

異方性導電膜
(ACF)



2017年3月期売上高

626億円

海外売上高比率
約62%

表面実装型ヒューズ



熱伝導シート



FPC用
ボンディングシート



無機波長板



無機偏光板



光学材料部品事業

反射防止フィルム



光学弾性樹脂
(SVR)



精密接合用樹脂/
光ディスク表面保護材

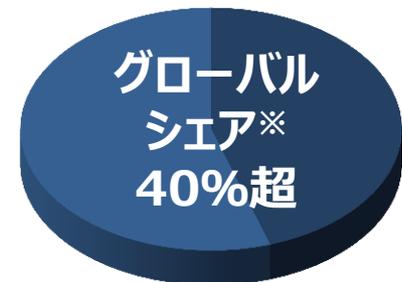
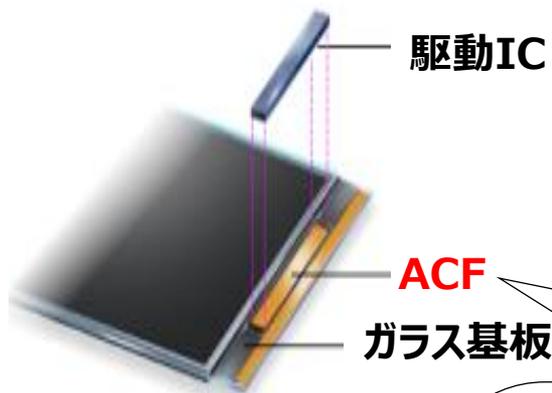


主力製品① 異方性導電膜 (ACF)

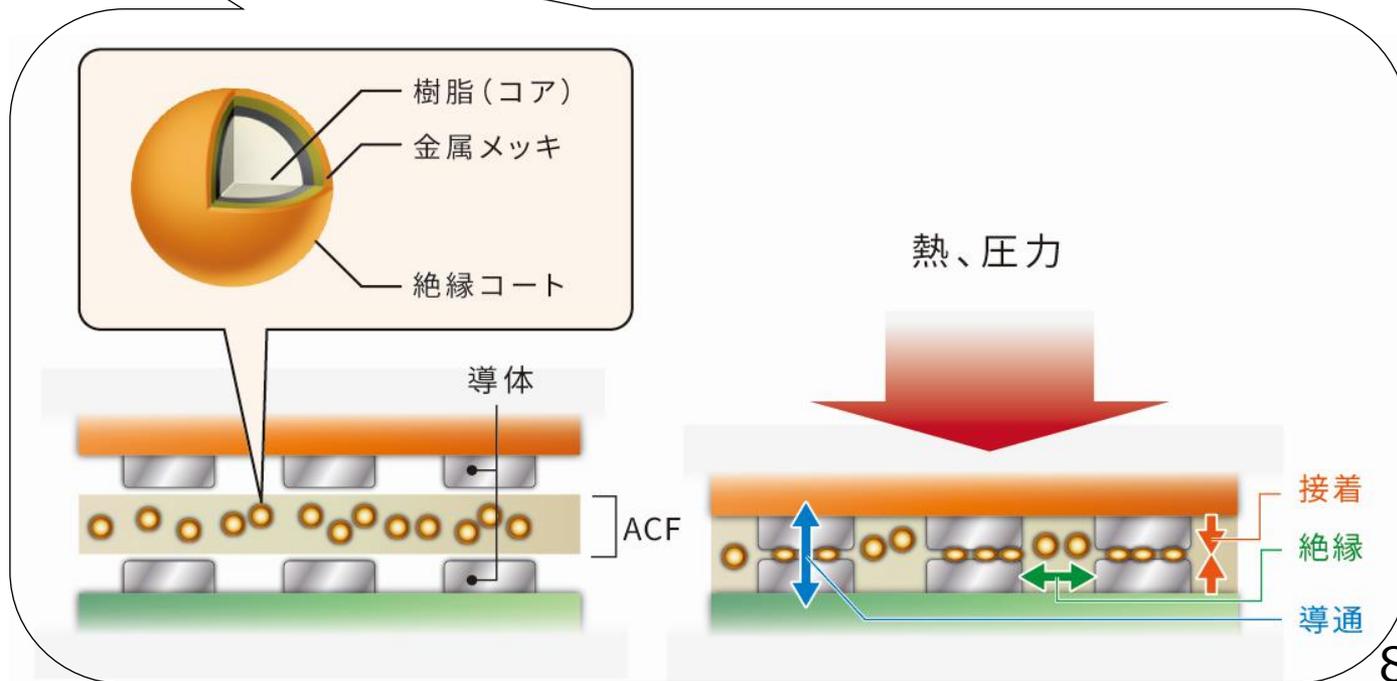
世の中のほぼ全てのディスプレイで使われる、デファクト・スタンダード製品

ディスプレイパネルを駆動するICチップを接続 (スマホの例)

中小型ディスプレイ向け
では世界シェアNo.1



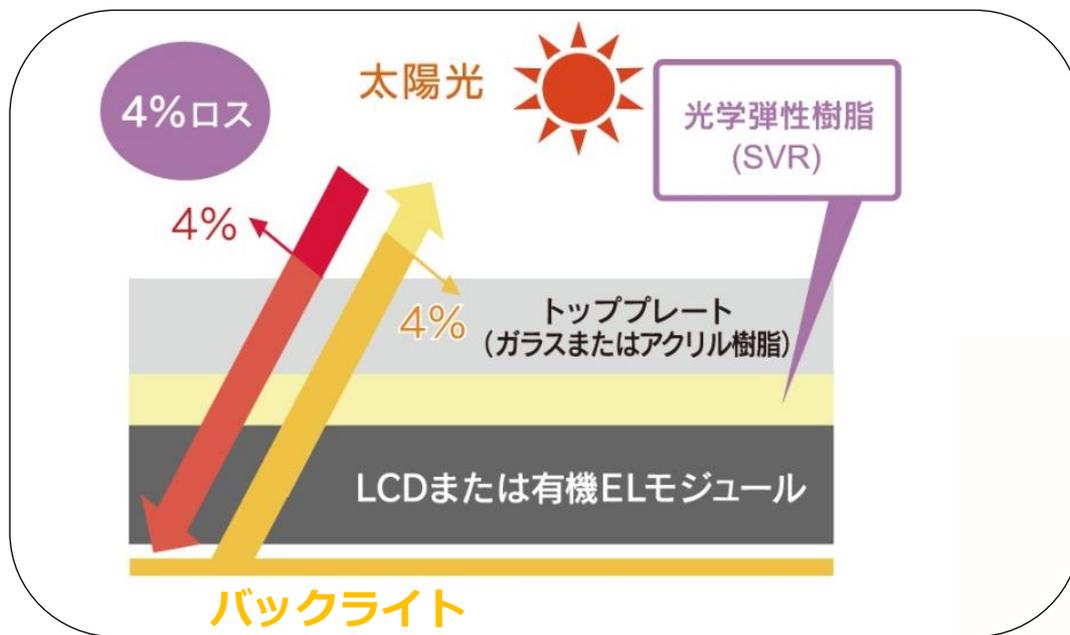
※当社調べ



主力製品② 光学弾性樹脂 (SVR)

視認性・耐久性の向上、薄型化に貢献するディスプレイ製品の進化のキーマテリアル

トッププレートとモジュールの間に挟み込んで固める液状の樹脂



ディスプレイ貼合剤粘着樹脂で世界シェアNo.1

グローバル
シェア※
50%超

※当社調べ



視認性の向上効果：スマートフォンでは主流



使用される最終製品：

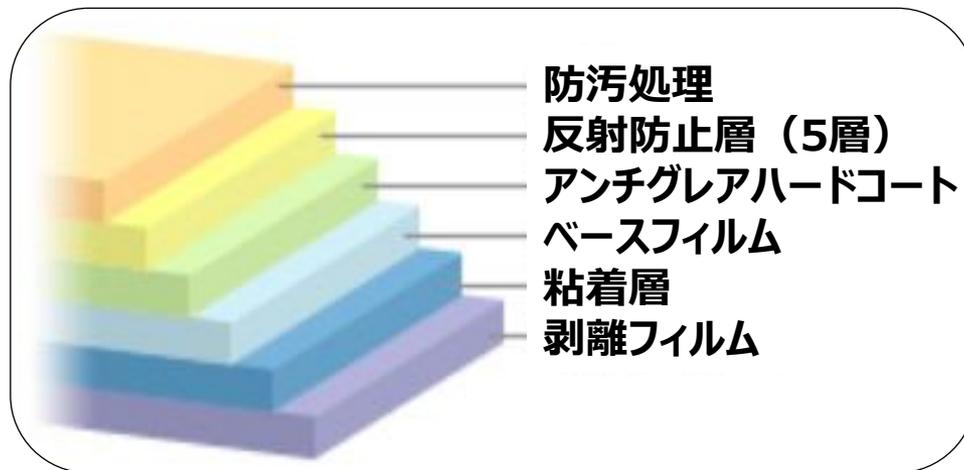
- ・スマートフォン
- ・タブレットPCなど

主力製品③ 反射防止フィルム（ARフィルム）

低反射性、対擦傷性、防汚性で競争優位、当社第3の柱に急成長

独自のノウハウで形成する5層の金属酸化膜が
高い反射防止機能を実現

スパッタ技術を用いた
反射防止フィルムで
世界シェアNo.1

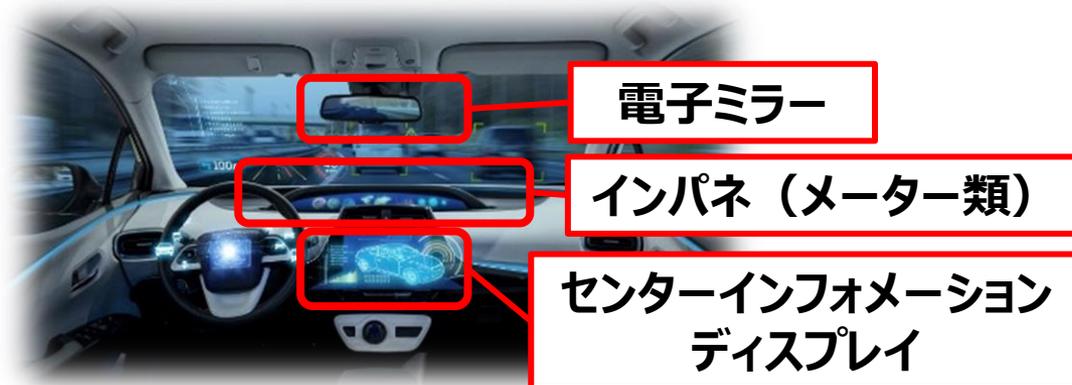


ARフィルムあり

ARフィルムなし



ノートPC用途に車載ディスプレイ用途が加わり急拡大中



本日のご説明内容

1 当社の概要

2 当社の特徴、強み

3 中期経営計画

4 株主還元

1. 主力製品は世界No.1

2. ビジネスモデル：高い技術と徹底した顧客密着

3. 業績は回復基調、健全な財務体質を維持

4. 成長の持続性を支える経営体制

特徴・強み① 主力製品は世界No.1



異方性導電膜 (ACF)

中小型ディスプレイ向け
市場で世界シェア1位



光学弾性樹脂 (SVR)

ディスプレイ貼合粘着樹脂市場で世界シェア1位

主要3製品の売上高比率

2017年3月期売上高

約60%

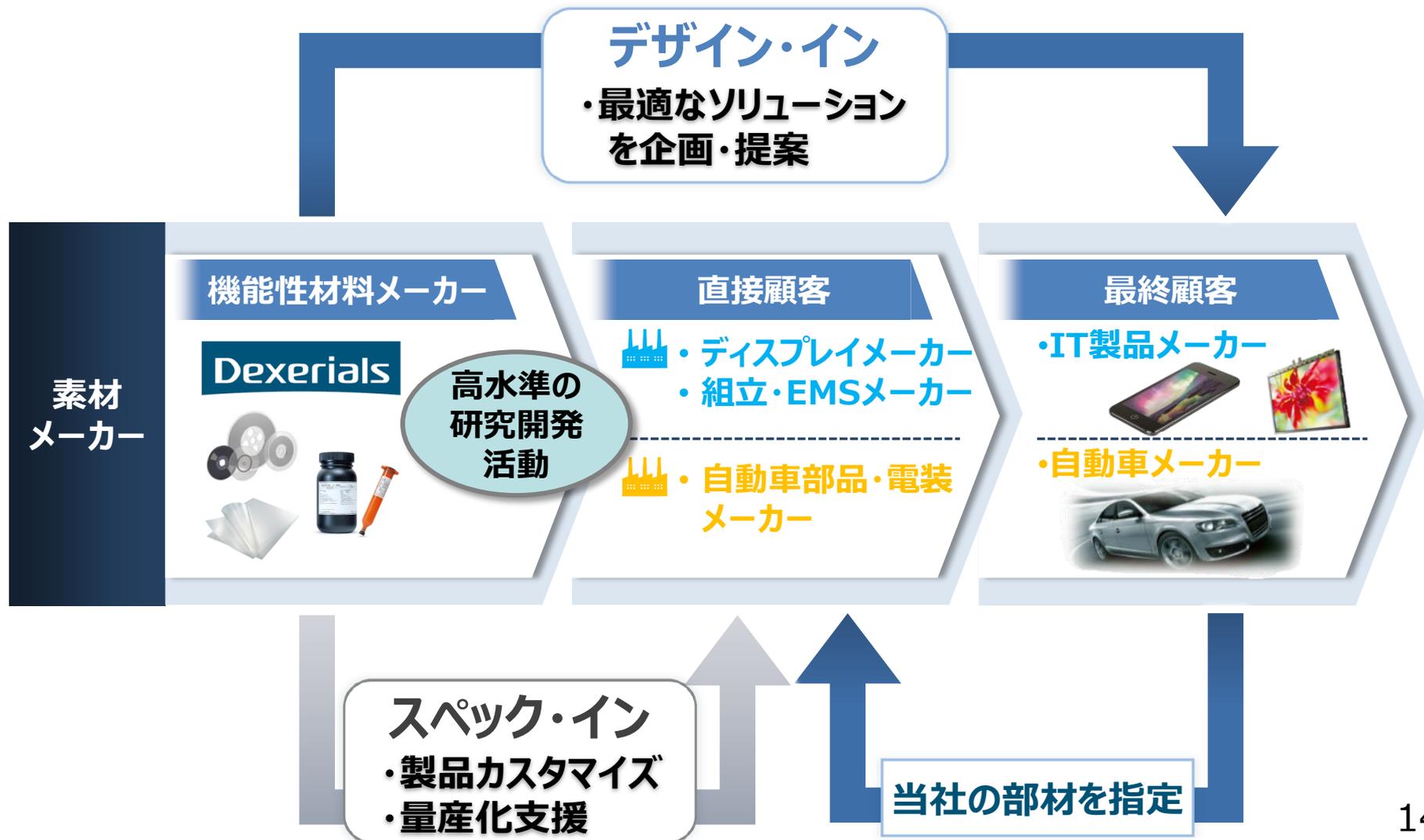


反射防止フィルム

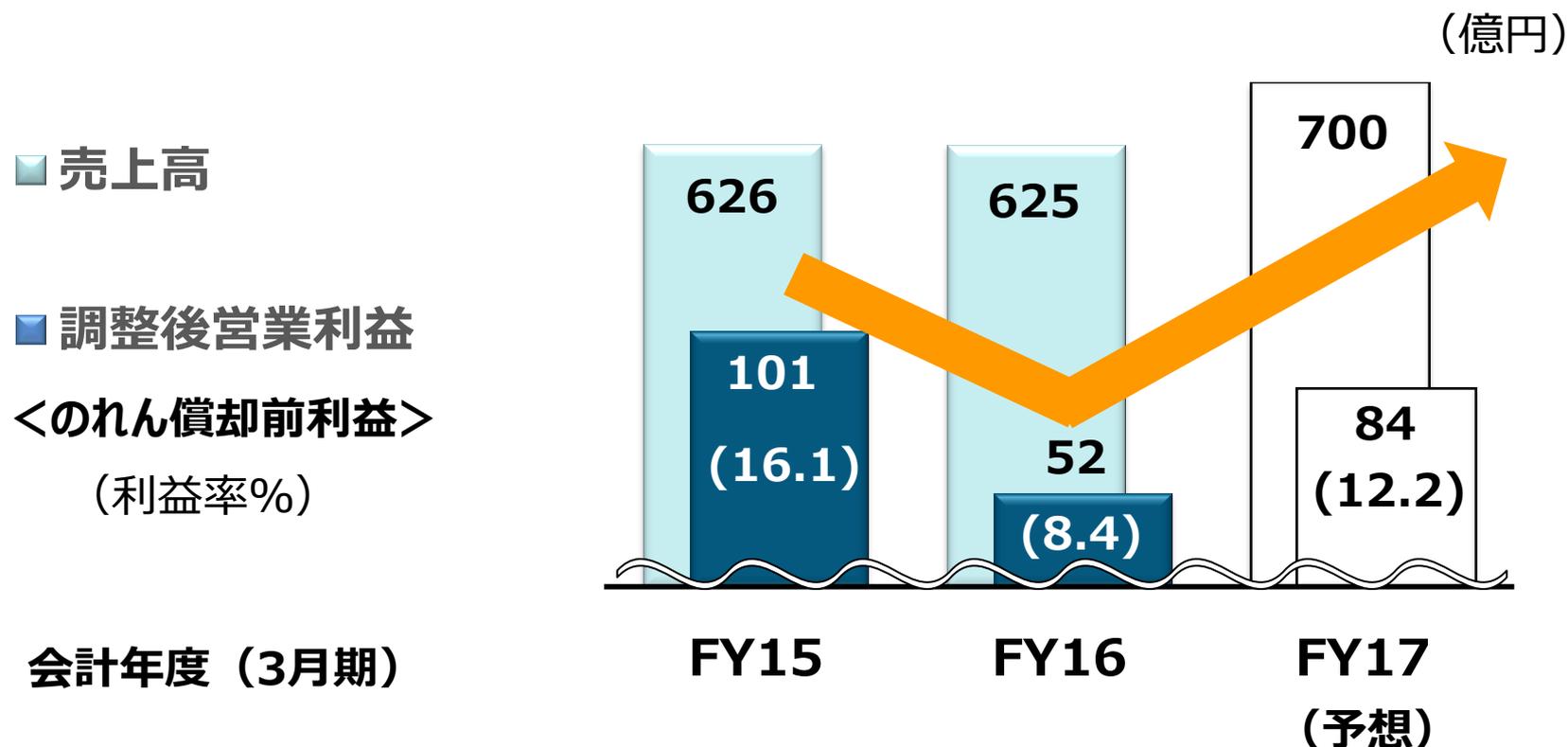
スパッタ技術を用いた
反射防止フィルム市場で
世界シェア1位

特徴・強み② ビジネスモデル

高い技術力と徹底した顧客密着が競争力の源泉

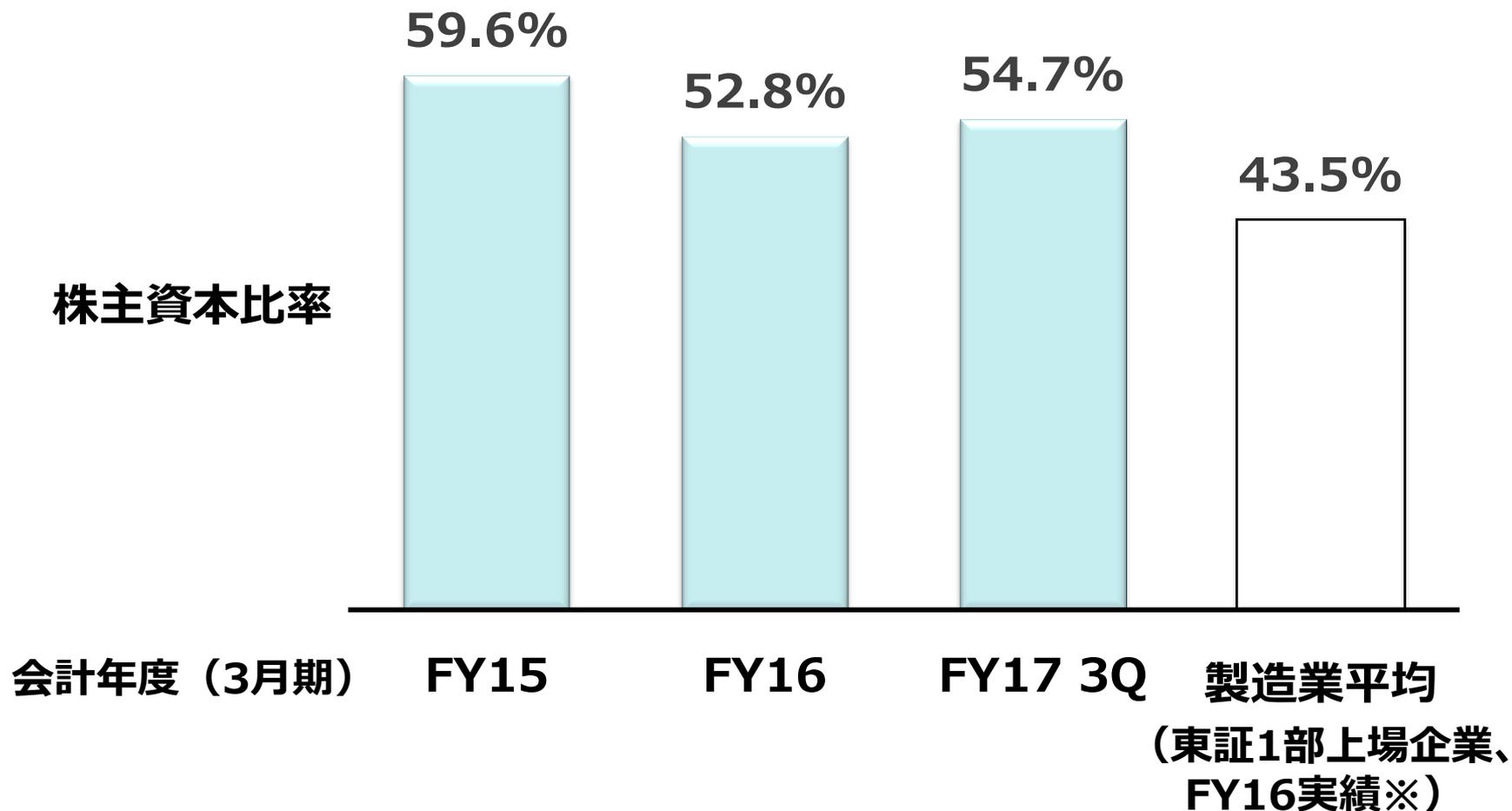


特徴・強み③ 業績は回復基調



調整後ROE (%)	12.0	5.3	12.0
調整後EPS (円)	101.9	45.9	103.0
為替レート(円/米ドル)	120.1	108.4	111.2 (前提)

特徴・強み③ 健全な財務体質を維持



※東京証券取引所「17.3期決算短信集計」より算出

特徴・強み④ 成長の持続性を支える経営体制

透明性が高く、スピーディな意思決定と専門家による業務執行の監督

【取締役会】

- 経営の意思決定
- 業務執行の監督

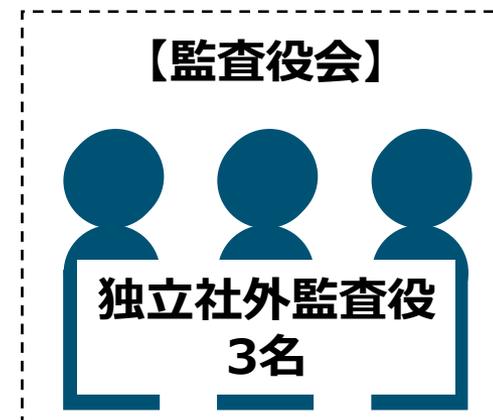


【執行役員会】

- 業務の執行



【監査役会】



本日のご説明内容

1 当社の概要

2 当社の特徴、強み

3 中期経営計画

4 株主還元

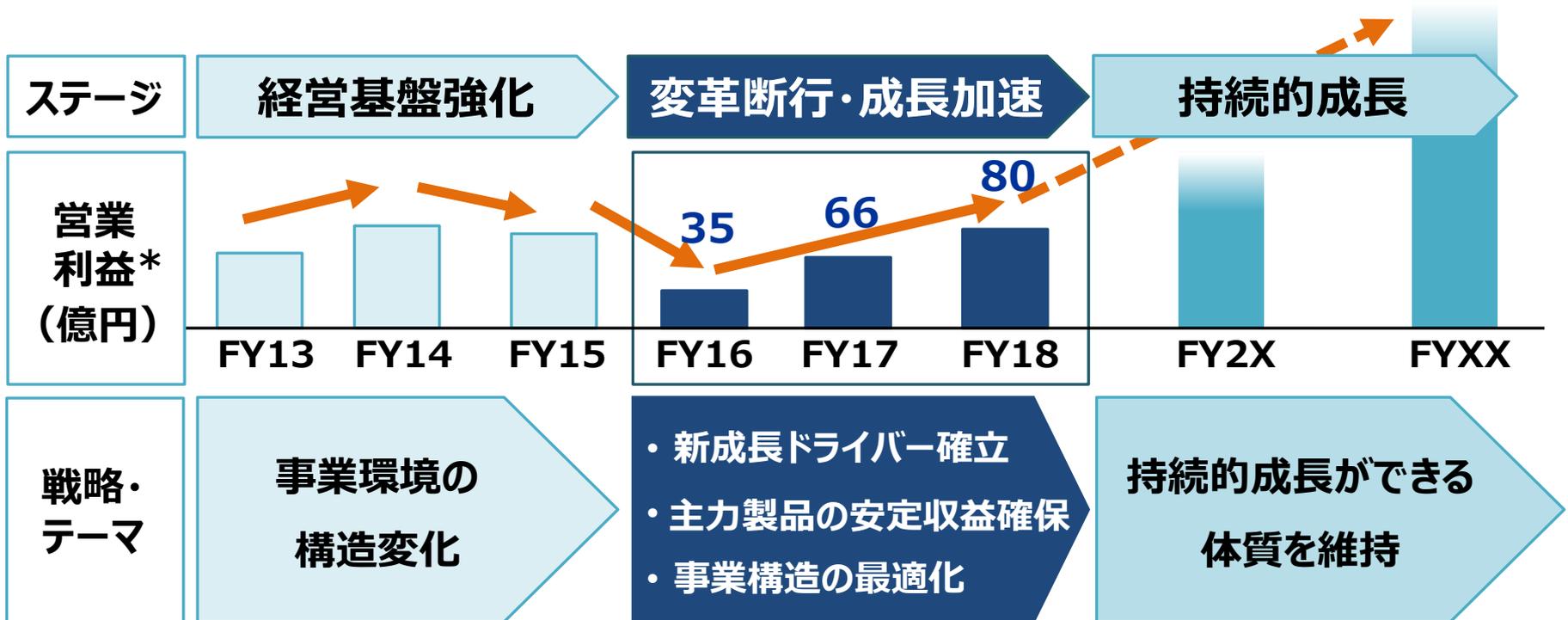
中期経営計画「変革と成長 2018」概要

位置付け・
ゴール

『持続的成長』ができる収益体質の確立を目指す

◆成長ステージ&営業利益、戦略・テーマ

ビジョン実現へ

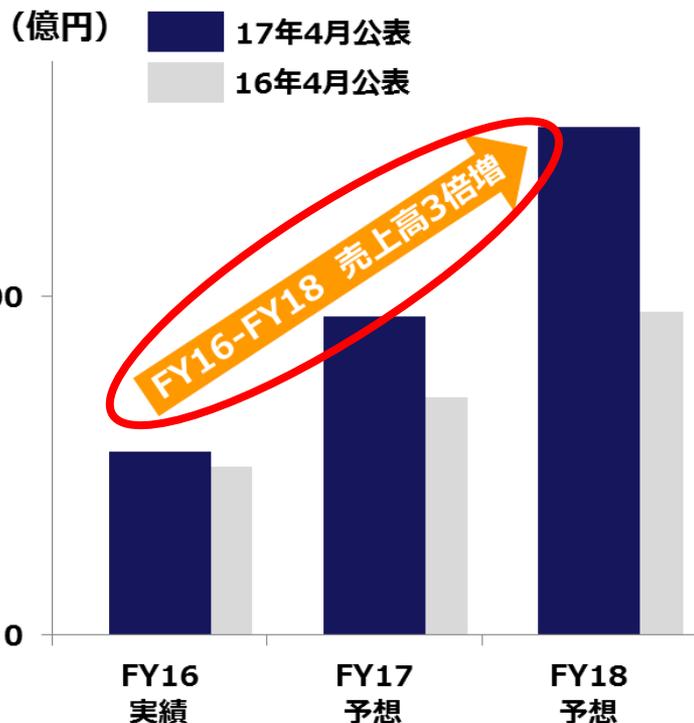


*FY17およびFY18の予想営業利益は2017年4月27日にアップデート、
FY17業績予想は7月27日に上方修正

成長戦略① 反射防止フィルム

ノートPC向け需要の拡大継続＋車載ディスプレイ採用の本格化で
売上高は中期経営計画3年間で3倍増を目標

光学フィルムカテゴリ売上高*



*取引条件の見直しの影響を除く

栃木事業所での生産能力を現行の2倍に増強、
拡大する需要を取り込み



- 生産拠点： 栃木事業所
- 設備投資額： 約60億円
- 生産能力： 現行の生産能力の2倍に増強
- 稼動開始時期： 今下期以降順次稼動予定

成長戦略② 自動車領域への展開

センシングカメラ

- ・紫外線硬化型 / 熱硬化型接着剤
- ・異方性導電膜 (ACF)
- ・熱伝導シート

センターインフォメーションディスプレイ

- ・反射防止フィルム
- ・反射防止フィルム (モスアイタイプ)
- ・光学弾性樹脂 (SVR) ・異方性導電膜 (ACF)
- ・熱伝導シート

ヘッドライト

- ・スパッタリングターゲット
- ・熱伝導シート

ミリ波レーダー 対応エンブレム

- ・スパッタリングターゲット

バッテリー

- ・熱伝導シート
- ・表面実装型ヒューズ

ルームミラー*1

- ・反射防止フィルム
- ・反射防止フィルム (モスアイタイプ)
- ・光学弾性樹脂 (SVR) ・異方性導電膜 (ACF)

テールライト*2

- ・異方性導電膜 (ACF)

ドアミラー

- ・スパッタリングターゲット

インストルメントパネル*1

- ・反射防止フィルム
- ・反射防止フィルム (モスアイタイプ)
- ・光学弾性樹脂 (SVR) ・異方性導電膜 (ACF)

ヘッドアップディスプレイ

- ・反射防止フィルム (モスアイタイプ) ・熱伝導シート
- ・無機波長板
- ・異方性導電膜 (ACF)
- ・無機拡散板
- ・スパッタリングターゲット

*1 ディスプレイ搭載タイプ
*2 有機ELタイプ

成長戦略③ 中長期成長に向けた新事業領域への展開

まずは自動車を優先、将来的にはさらに領域を拡大



自動車



ライフサイエンス



環境

本日のご説明内容

1 当社の概要

2 当社の特徴、強み

3 中期経営計画

4 株主還元

株主還元方針、配当金

適切な株主還元を通じて調整後ROEを15%程度に維持しながら企業価値向上を追求

還元方針

- 成長投資による企業価値向上が株主共通の利益
- 持続的な企業価値向上につながる事業投資を優先
- 総還元性向でのれん償却前連結当期純利益の40%を目途に利益成長に応じて還元
- 配当額は、成長に必要な投資額、フリー・キャッシュ・フローの見通し、自社株買いを含む総還元性向、安定配当の重要性を総合的に勘案して決定

FY17 一株当たり配当金（予想）

40.0円

**配当利回り
3.5%**

※配当利回りは3/20終値（1,145円）で算出

Value Matters

今までなかったものを。
世界の価値になるものを。



質疑応答

